

# 2011年3月期 決算補足資料

2011年5月10日  
ブックオフコーポレーション株式会社

2011年3月期は「東日本大震災」の影響を受け、経常利益計画未達。  
計画折込済みの「資産除去債務の適用」、計画外の「災害損失」の計上もあり  
最終減益。

被災地域の復旧も含め、足元業績は回復。  
新店の立ち上がりも好調であり、出店方針は変更せず。  
引き続き「BOOKOFF SUPER BAZAAR」は年間4～5館出店予定。

2012年3月期業績見通しについては、震災が消費に与える影響は依然不透明  
であることから若干保守的に設定するも、増収増益。  
過去最高の経常利益(35億円)達成を見込む。

# 2011年3月期 連結決算概要

## 連結損益計算書

単位:百万円

	2010.3期	構成比	2011.3期	構成比	前年比	計画比	要因
売上高	71,091	100.0%	73,345	100.0%	103.2%	2,655	粗利重視へ転換。震災の影響による既存店売上減少インパクトは 約9億円
売上総利益	40,081	56.4%	41,442	56.5%	103.4%	-	事業ミックスによる粗利率の減少トレンドは一巡、下半期からの商品別の粗利率改善効果により微増
販売管理費	37,269	52.4%	38,694	52.8%	103.8%	-	コスト削減を進める一方、リユース事業へ人員を先行投資、下半期にコスト削減効果が発現するも通期では微増
営業利益	2,811	4.0%	2,748	3.7%	97.8%	552	売上計画未達分の大半は粗利率向上でカバーしているが、震災の影響による東北及び関東圏の売上減少が響き、経常利益計画未達に
経常利益	3,137	4.4%	3,157	4.3%	100.6%	443	
特別利益	119	0.2%	139	0.2%	116.8%	-	【特別損失】 ・資産除去債務会計適用に伴う影響額 626百万円(期首計画折込済み) ・災害損失 275百万円(期首計画外)
特別損失	634	0.9%	1,628	2.2%	256.9%	-	
当期純利益	1,378	1.9%	568	0.8%	41.2%	632	震災の影響による経常利益計画の未達と、資産除去債務・災害損失など特別損失が計上されたことにより当期純利益は減益
EPS(円)	76.96		31.57		45.39		

# 2011年3月期 連結決算概要

## セグメント別実績

単位:百万円

<売上>	2010.3期	構成比	2011.3期	構成比	前年比	要因
ブックオフ事業	47,724	67.1%	50,001	68.2%	104.8%	【ブックオフ事業】 ・新店等による直営店の伸び
リユース事業	8,940	12.6%	9,761	13.3%	109.2%	・オンライン売上増
パッケージメディア事業	13,462	18.9%	12,943	17.6%	96.1%	【リユース事業】 ・新店による直営店の伸び
その他	963	1.4%	638	0.9%	66.2%	・既存店前年比増(102.9%)
全社・調整	-	-	-	-	-	【パッケージメディア事業】 ・レンタル、新品の既存店前年比減
合計	71,091	100.0%	73,345	100.0%	103.2%	・新刊書店事業の不採算店舗の閉鎖

<営業利益>	2010.3期	利益率	2011.3期	利益率	前年比	要因
ブックオフ事業	4,288	9.0%	4,724	9.4%	110.2%	【ブックオフ事業】 ・新店の収益力向上、既存店の収益性向上
リユース事業	128	1.4%	116	1.2%	-	【リユース事業】 ・人員の先行投資
パッケージメディア事業	27	0.2%	30	0.2%	-	【パッケージメディア事業】 ・売上減は粗利率向上とコスト削減でカバー
その他	49	5.1%	9	1.4%	18.5%	・不採算店舗の閉鎖
全社・調整	1,626	-	1,898	-	-	【全社】 ・一部費用をセグメント変更(ブックオフ事業より移管) 80、貸倒引当 50、為替差損 40、 税務 50、本部強化 30等
合計	2,811	4.0%	2,748	3.7%	97.8%	

# 2011年3月期 連結決算概要

## 東日本大震災の影響(1)

### 1. 売上に与えた影響

関東・東北地方で店舗数・売上高ともに70%近くを占めるため  
 関東地方での計画停電等による営業時間の短縮が響いた

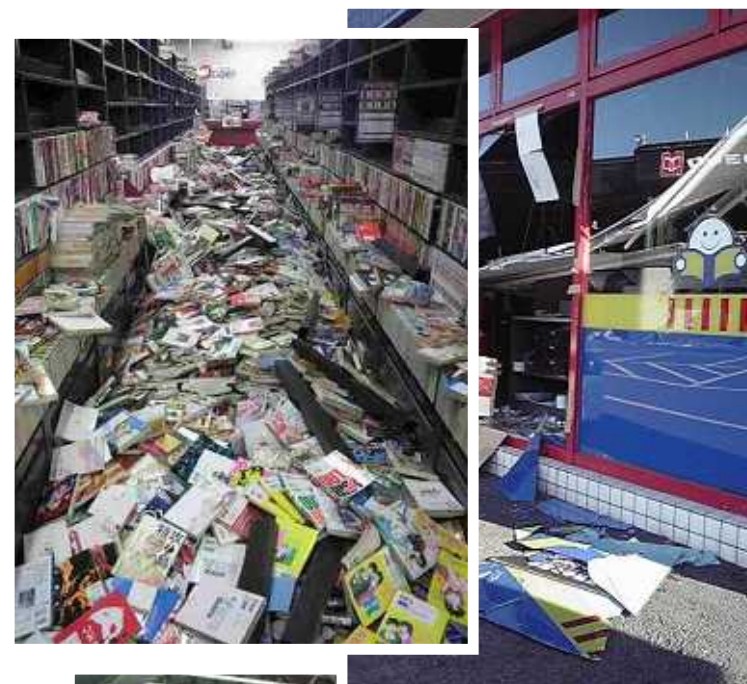
直営店データ

3月度 売上高	BOOKOFF店舗		リユース店舗	
	既存店 前年比	3/31時点 休業店舗数	既存店 前年比	3/31時点 休業店舗数
東北地方	72.7%	7店舗	30.3%	5店舗
関東地方	86.9%	2店舗	68.5%	1店舗
その他	97.9%	-	93.4%	-
合計	89.1%	9店舗	73.8%	6店舗

### 2. 災害損失(特別損失)の計上

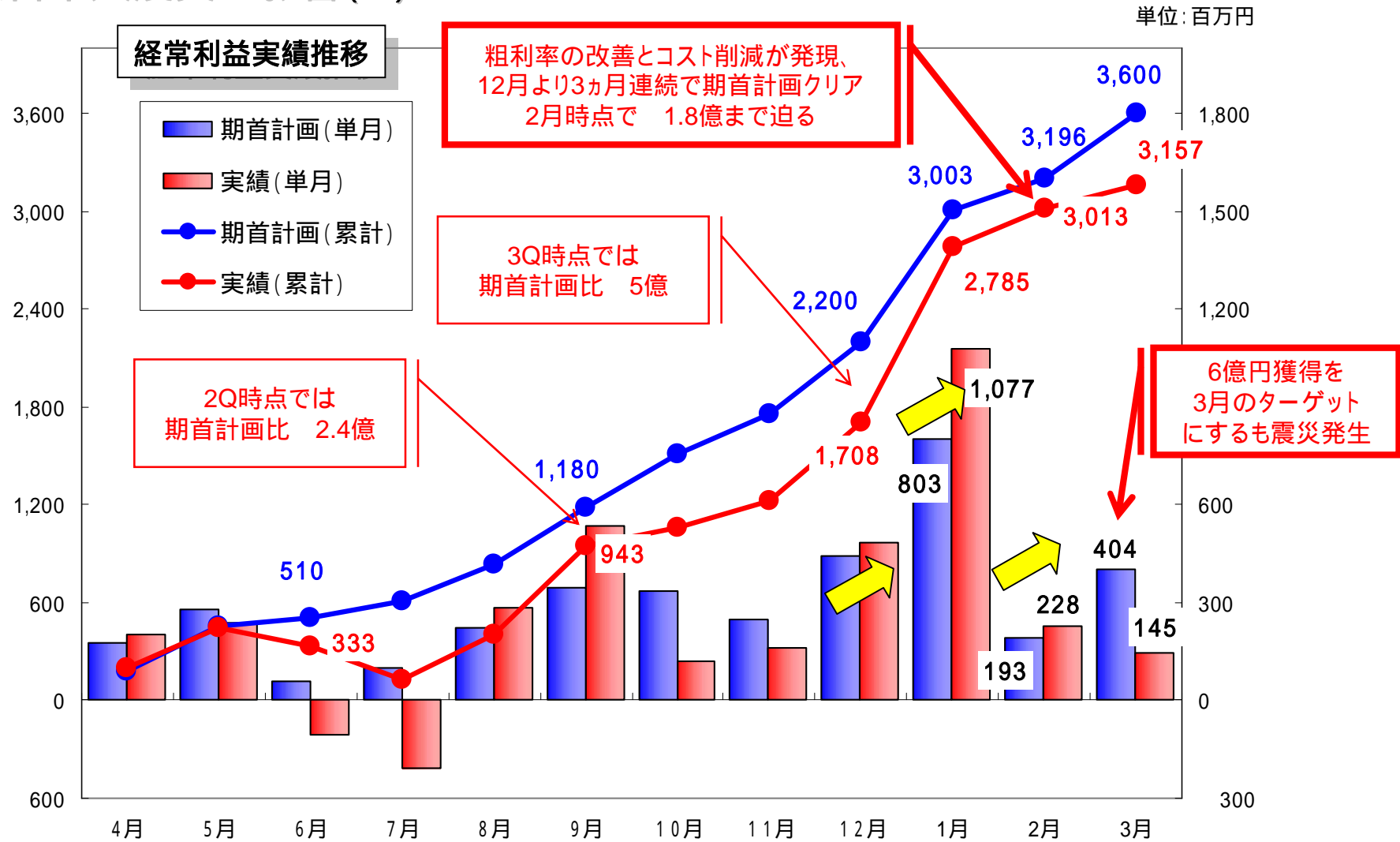
- ・商品の破損
- ・修繕引当
- ・義援金、支援物資
- ・復旧人件費、従業員の休業補償

**合計275百万円**



# 2011年3月期 連結決算概要

## 東日本大震災の影響(2)



# 2011年3月期 連結決算概要

## 東日本大震災の影響(3)

営業時間の正常化、休業店舗の営業再開とともに、足元は大きく回復  
特に注力している商材は好調に推移(4月商材別売上前年比:コミック104.8%、衣料品108.0%)

売上高	< 2011年3月度 >				< 2011年4月度 >			
	BOOKOFF店舗		リユース店舗		BOOKOFF店舗		リユース店舗	
	既存店 前年比	3/31時点 休業店舗数	既存店 前年比	3/31時点 休業店舗数	既存店 前年比	4/30時点 休業店舗数	既存店 前年比	4/30時点 休業店舗数
東北地方	72.7%	7店舗	30.3%	5店舗	89.4%	1店舗	22.5%	-
関東地方	86.9%	2店舗	68.5%	1店舗	96.7%	1店舗	100.2%	-
その他	97.9%	-	93.4%	-	97.4%	-	112.0%	-
合計	89.1%	9店舗	73.8%	6店舗	96.5%	2店舗	99.2%	全店再開

既存店売上高前年比における計画の前提はP9参照  
4月単月の連結経常利益は粗利率の向上等により前年同月比 + 48百万円増(123%)

~ 当社グループとしての取り組み ~

1. 被災地加盟店への復興支援  
人的支援 義援金(当社より5,000万円)
2. 「売って支援プログラム」~ お客様が本等を売ることによって寄付できる仕組みを提供 ~ 5/6時点 参加 8,596名、寄付合計 1,425万円 ~
3. 本の提供(NPO法人等を通じて対応)
4. 会社としての義援金 合計1,000万円(日本赤十字社などを通じて対応)



BSB仙台泉古内館  
営業再開日の朝礼(4月30日)

# パッケージ別の現状(2011.3期通期実績)

「BOOKOFF SUPER BAZAAR」と「BOOKOFF」都市型大型店に資源を注力、収益性を高めながら構成比も高めていく

金額単位: 百万円

	店舗パッケージ	外観イメージ	定義	全店			既存店		
				拠点数	売上高 (売場坪数)	売上構成比 (前年同期比)	経常利益	利益構成比	利益率
1	「BOOKOFF SUPER BAZAAR」		総合リユースとしての大型複合パッケージ	16	10,912 (14,502)	20.3% (+3.0pt)	923	14.9%	12.1%
2	「BOOKOFF」都市型大型店		売場面積150坪以上乗降客数5万人以上の駅近く(駐車場なし)	23	8,959 (5,628)	16.7% (+0.8pt)	1,123	18.1%	15.3%
3	「BOOKOFF」単独店		1・2を除く「BOOKOFF」単独店舗	238	24,455 (30,144)	45.6% (-3.1pt)	3,271	52.7%	14.1%
4	「BOOKOFF + (プラス)」(1以外の複合店)		「BOOKOFF」とリユース業態との複合店舗(1より小型)	35	8,320 (10,589)	15.5% (-0.7pt)	826	13.3%	10.5%
5	リユース業態単独店		リユース業態単独店	15	999 (1,898)	1.9% (±0.0pt)	59	1.0%	8.0%
合計				327	53,648 (62,761)	100.0%	6,205	100.0%	13.3%

拠点数: 複合館の複数店舗はまとめて1拠点とみなす

## 2012年3月期 業績見通し

### 連結損益計画

単位:百万円

	2011.3期	構成比	2012.3期	構成比	前年比	増減
売上高	73,345	100.0%	77,000	100.0%	105.0%	+ 3,655
営業利益	2,748	3.7%	3,200	4.1%	116.4%	+ 452
経常利益	3,157	4.3%	3,500	4.5%	110.9%	+ 343
当期純利益	568	0.8%	1,600	2.1%	281.7%	+ 1,032
EPS(円)	31.57円		88.33円			+ 56.76円

当期純利益の増加については、資産除去債務626百万円・災害損失(引当金含む)275百万円の特別損失がなくなるため

## 計画の前提

### 全体

- ・BSBを4～5館出店(前期は3館)、前期新店の収益寄与が主な増益要因
- ・BSBの底上げにより、経常利益1億円を超える館を現在の4館 7館にする
- ・T-POINTサービス終了により、上半期に約3億円の運営コストの剥落が寄与するが、その半分をFC加盟店も含めたチェーン強化に活かしていく
- ・震災等が消費に及ぼす影響は依然不透明であるため、全体としては保守的な計画に設定

### ブックオフ事業

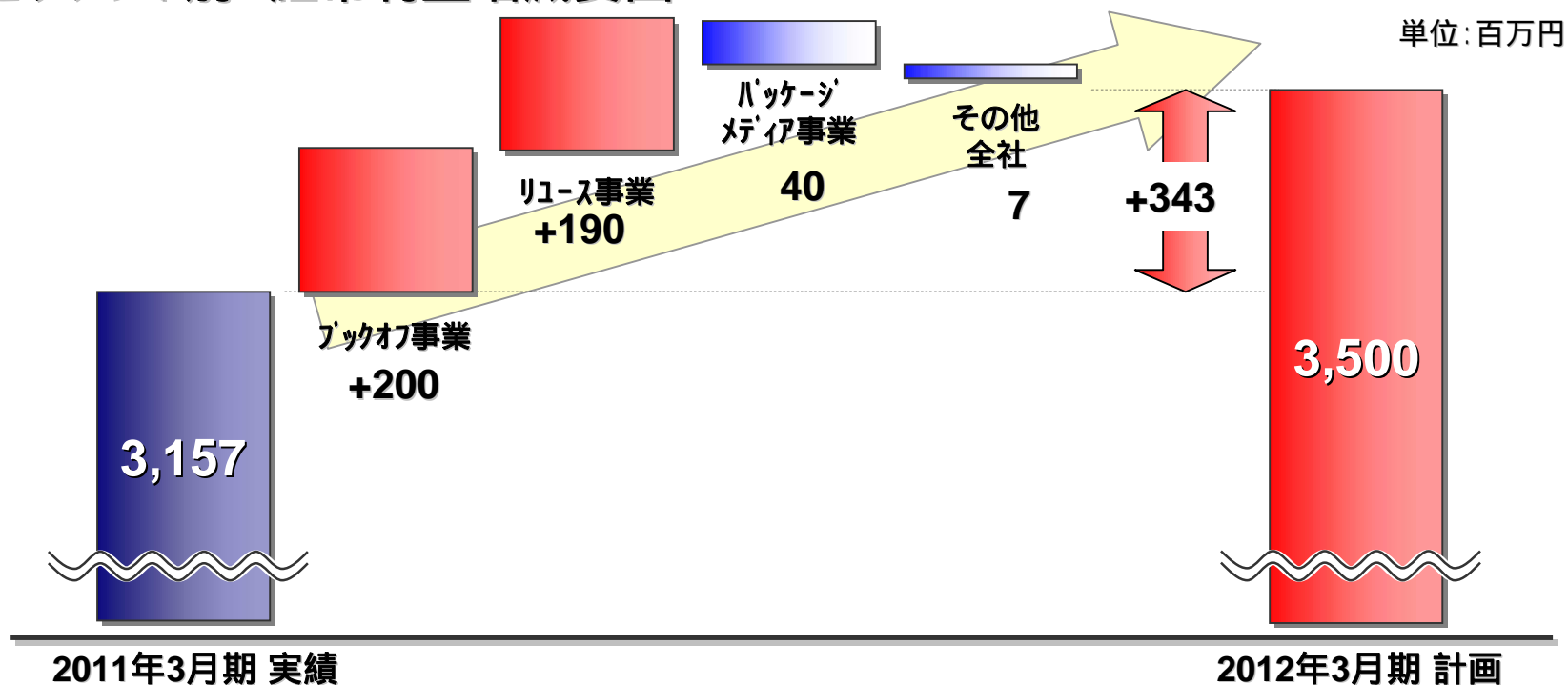
- ・「売上追求」から「粗利率＋生産性」にシフト、商品毎の粗利施策をより強化する
- ・既存店売上高前年比の見通しは、上半期97.9%、下半期102.7%
- ・店舗粗利率の見通しは、上半期64.1%(前年同期比＋1.1%)、下半期64.2%(同＋0.9)%

### リユース事業

- ・前期下期の体制変更など運用面の適正化・効率化により先行投資を収益性向上につなげる
- ・既存店売上高前年比の見通しは、上半期101.9%、下半期107.9%
- ・店舗粗利率の見通しは、上半期64.1%(前年同期比＋0.8%)、下半期64.5%(同＋2.4%)

# 2012年3月期 業績見通し

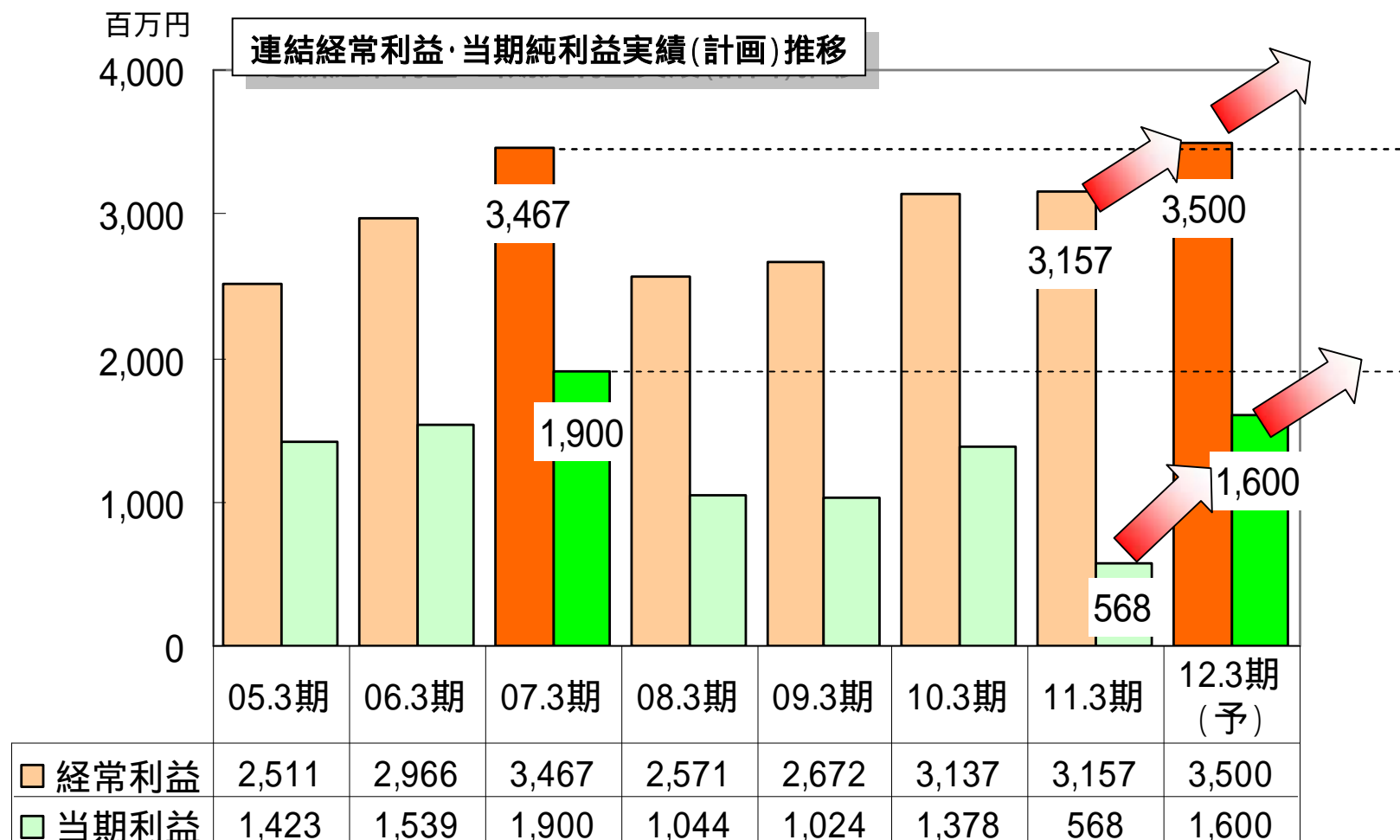
## セグメント別 経常利益増減要因



セグメント	増減	増減要因
ブックオフ事業	+ 200	前期新店+350、新店 150、T-POINT運営費等+300、オンライン+70 FCチェーン強化 180、新POS展開 100、古紙売却益 40、その他 50
リユース事業	+ 190	既存店+90、前期新店+250、新店 180、T-POINT運営費等+50、FCチェーン強化 20
パッケージメディア事業・その他・全社	47	TSUTAYA店舗 40、業容拡大に伴う事業税・償却資産税等増加等 7
合計	+ 343	

# 2012年3月期 業績見通し

## 2012年3月期に2007年3月期の経常利益過去最高益を更新する



## 見通しに関する注意事項

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち、歴史的事実でないものは、当社が現在入手可能な情報に基づき判断した将来の見通しに関する記述であり、経営環境等の変化により内容が大きく変動する可能性があります。